



エコアクション21

(環境活動レポート)

(H21. 4～H22. 3)



蓮華寺池公園



玉露の里

藤 枝 市

目 次

藤枝市環境方針	P. 1
1 組織の概要	P. 2
2 実施体制	P. 4
3 藤枝市の環境における現状と課題	P. 5
4 環境への取り組み状況	P. 7
重点取り組み項目	P. 10
藤枝市もったいない運動の取組み	P. 13
5 目標と環境への負荷の状況と評価	P. 14
(1) 環境目標の設定	P. 14
(2) - 1 取組結果(市役所本庁舎)	
① CO2 排出量	P. 14
② 廃棄物排出量	P. 18
③ 水使用量	P. 19
(2) - 2 取組結果(岡部支所)	P. 20
(3) 「エコアクション21 職員の環境行動指針10箇条」と 各課の取組目標	P. 20
6 教育訓練の実施	P. 21
7 環境関連法規への違反・訴訟等の有無	P. 22
8 今後の取得予定	P. 23
9 代表者による全体評価	P. 23

藤枝市環境方針

【基本理念】

私たちのまち藤枝市は、緑と水に囲まれた美しい恵まれた環境の中で、調和のとれた産業と豊かな文化を育て、発展を遂げてきました。

私たちは、このかけがえのない環境の恩恵を将来にわたって、守り、育み、さらに継承するために、市・市民及び事業者が自覚と責任を持ち、相互の協力連携を強化しつつ、自然と共生し、将来へ向けて環境への負荷の少ない、「誰もが安心して暮せるまち藤枝」にしていかなければなりません。

このような環境に対する認識の下、藤枝市は地球温暖化防止や資源循環型社会の構築などの環境保全活動として、限られた資源を無駄にしない「藤枝市・もったいない運動」を始め、さまざまな取り組みを実施しています。

藤枝市は、藤枝市環境基本計画の理念である、環境と共生し循環を基調とする「持続可能な発展」を実現するまちづくりを推進してまいります。

【基本方針】

1 環境に配慮した施策・事務事業を推進します。

藤枝市環境基本計画に基づき、省資源・省エネルギー、廃棄物の削減及びリサイクル等、環境に配慮した施策・事務事業を推進します。

2 環境関連法規等を遵守します。

環境関連法規等を遵守し、環境保全に努めます。

3 地球環境問題対策を推進します。

地球温暖化防止のため、温室効果ガス削減に向けた取り組みを推進します。

4 職員の意識の向上を図ります。

職員研修等を実施し、環境意識の向上に努めます。

5 環境教育を推進します。

自然を生かした学習や、環境にやさしい学習を推進します。

6 環境関係の情報を幅広く提供します。

環境に関する情報を、幅広く提供し、市民・事業者の環境活動を支援します。

この環境方針は、全職員に周知するとともに、一般市民へも公開します。

平成20年6月20日

藤枝市長 北村正平

1 組織の概要

(1) 市の概要

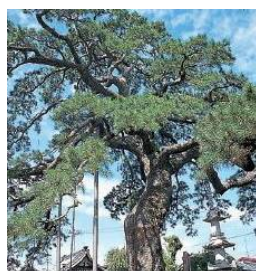
藤枝市は、静岡県中央、静岡市の西約20kmに位置する市です。北部は明石山系の南端に接し、南部には肥沃な志太平原が広がり市街地が形成されています。

平成21年1月1日に共に東海道の宿場町として発展してきた岡部町と合併し、現在は市の面積194.03km²、人口145,005人（平成22年3月31日現在）となっております。

「元気なまち藤枝」づくりを基本理念に市政運営に取り組む本市は、平成21年12月に“もったいない”都市宣言をし、市民・事業者・行政が一体となり「環境行動都市」を目指した取り組みを推進しています。



市の鳥
ウグイス



市の木
マツ



市の花
フジ

(2) 市の地勢

地形は南北に長く、北部の明石山系から連なる山間地、中部の丘陵地、南部に広がる平坦地からなる本市の総面積は194.03km²です。そのうち、農用地面積は約17%、森林面積は約48%を占めています。

北部の森林、市街地周辺の丘陵地、南部の水田や瀬戸川、朝比奈川をはじめとする河川など、豊かな自然環境に恵まれています。

(3) 気象

本市の平成18年度～21年度の平均気温は17.6℃、年間平均降水量は2,175mmとなっておりますが、近年は1回あたりの降水量が増えているのが特徴です。また、気候は比較的温暖ですが、夏季には真夏日が続くなど地球温暖化の影響が考えられます。

(4) 自治体名および代表者名

藤枝市

代表者 藤枝市長

きたむら しょうへい
北村 正平

副代表者 藤枝市副市長

さくらい みきお
桜井 幹夫



(5) 所在地

静岡県藤枝市岡出山1丁目11-1（藤枝市役所本庁舎）

静岡県藤枝市岡部町岡部6-1（藤枝市役所岡部支所）

(6) 環境管理責任者

藤枝市環境水道部長

あおしま かずたか
青島 一隆

(7) 担当課

藤枝市環境水道部生活環境課環境政策係

電話 054-643-3111（内線413）

FAX 045-643-3280

Email kankyo@city.fujieda.shizuoka.jp

(8) 事業活動の内容

藤枝市役所における行政事務

(9) 事業の規模（平成21年4月1日現在）

① 藤枝市役所本庁舎

職員数（特別職、職員、臨時職員） 533名

委託業者（電気技師、電話交換手、駐車場、守衛、清掃）9名

延べ床面積 9,758.78㎡

② 藤枝市役所岡部支所

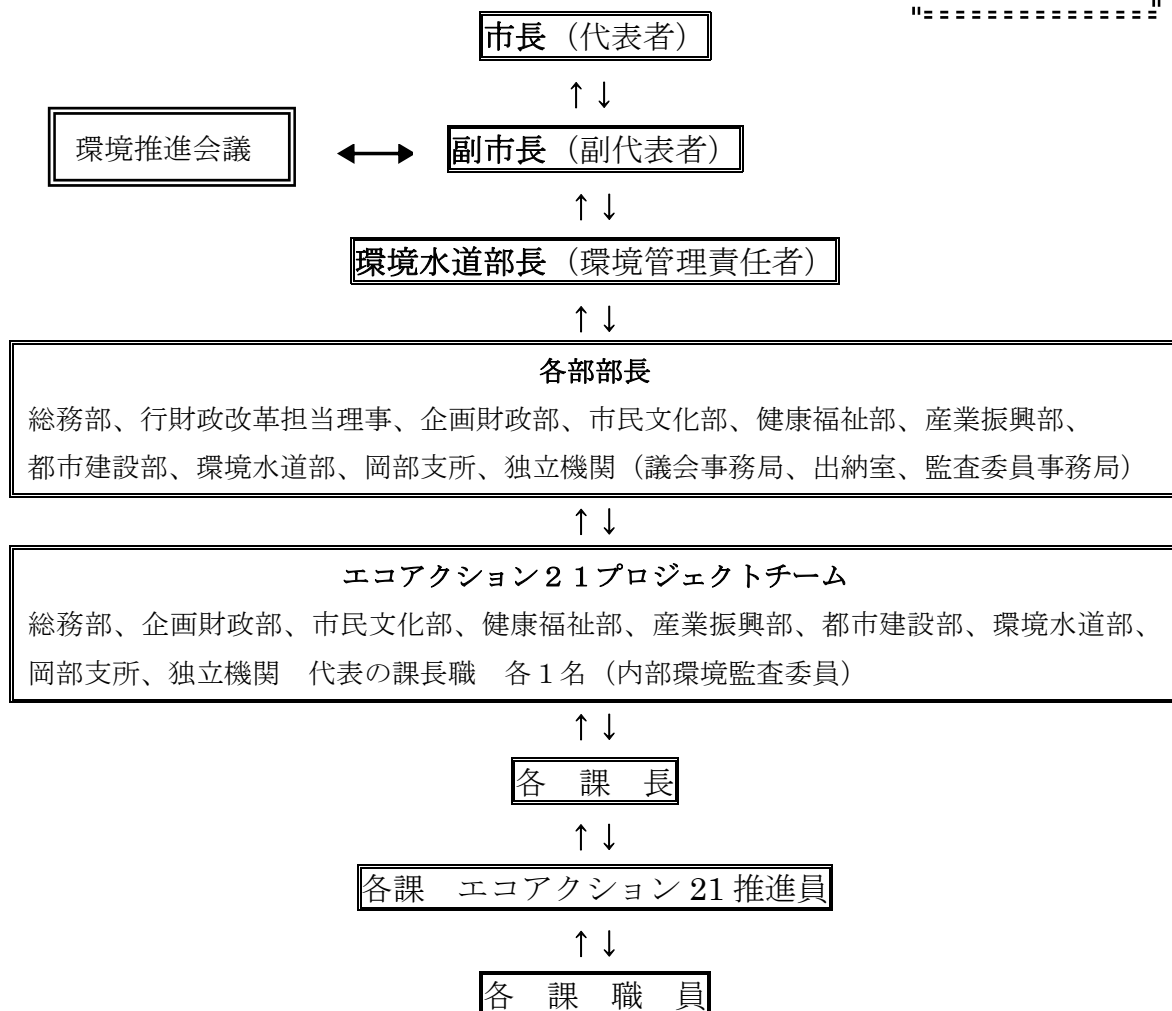
職員数 16名

延べ床面積 2,997.94㎡

2 実施体制

組織【対象部署・・・本庁舎及び岡部支所】

事務局
(生活環境課)

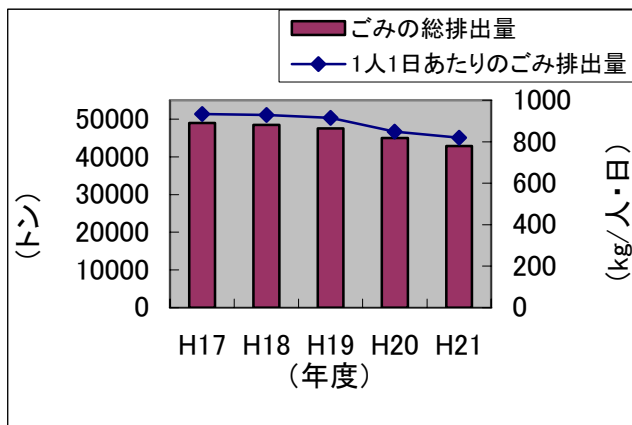


総務課	行政経営課	人事課	秘書広報課	防災課	契約検査課	管財課	企画政策課	財政課	課税課	納税課	情報政策課	市民協働課	市民課	男女共同参画課	文化課	スポーツ振興課	社会福祉課	児童課	介護福祉課
国保年金課	商業観光課	企業立地推進課	農林課	花と緑の課	建設管理課	道路課	河川課	都市計画課	建築住宅課	生活環境課	新清掃工場対策室	地域振興課	市民窓口課	出納室	教育総務課	学校教育課	議会事務局	農業委員会	監査委員事務局

3 藤枝市の環境における現況と課題

(1) ごみ収集処理

本市では、昭和60年度から天ぷら廃油、平成2年度から紙類、平成15年度から木くず・剪定枝の分別を開始するなど増え続けるごみに対する減量化、資源化に努めてきました。さらに平成17年度より容器包装プラスチック類の分別回収を実施により、前年比約10%の燃やすごみの減量となりました。



ごみの総排出量と一人一日あたりのごみ排出量

平成21年度実績では、市民一人あたりの一日のごみ排出量は県下の市で3番目に低い値となっております。

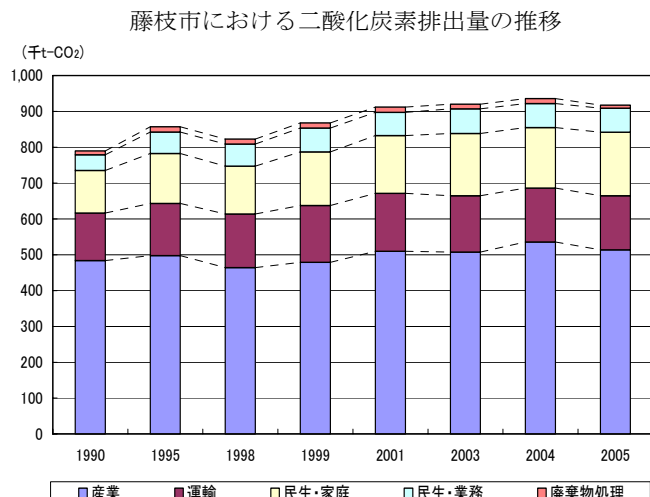
今後、更なる資源循環型社会の実現のため、市民・事業者・行政が一丸となって3Rの推進によるごみを出さない環境づくりが課題となります。

(2) 地球温暖化対策

本市における平成19年度の温室効果ガス排出量は、二酸化炭素に換算して約104万トンであり、前年度対比7.6%の増加となりました。また、市民一人あたりの年間排出量は7.6トンで国や静岡県との平均値よりも下回っています。

排出割合を部門別にみると、産業部門が58.6%と最も多く、次に家庭部門で18.4%となっています。

今後、再生可能エネルギー機器・設備の普及促進、省エネルギー機器・設備の導入促進など公共交通機関の充実などの直接的な削減対策とあわせ、家庭や地域等における認識を一層高めライフスタイルやビジネススタイルの転換を促すことが課題となります。



《藤枝市内における温室効果ガス排出量の推移》

(単位:千t-CO₂)

年度 部門	1990年度	2005年度	2006年度	2007年度	2007年度増加率	
					1990年度比	前年度比
産業	483.6	513.4	534.4	587.3	121.4%	109.9%
運輸	132.7	151.6	149	149	112.3%	100.0%
民生・家庭	118.8	176.9	172.7	184.6	155.4%	106.9%
民生・業務	43.6	66.8	67.6	75.3	172.7%	111.4%
廃棄物処理	11	8.6	7	5.7	51.8%	81.4%
計	789.7	917.3	930.7	1001.9	126.9%	107.7%

(3) 自然環境の保全

本市の約48%を占める森林面積は9,257haで、そのうち人工林面積は5,817haとなっています。

間伐を推進すべき人工林面積は2,520haを占め、これら森林の保育・間伐等を適切に実施していくことが重要ですが、後継者不足により適切な維持管理が行き届かず森林の持つ災害防止機能や水源かん養機能、生きものの生息環境などが失われてしまう可能性があるため、これらの対応が課題となっています。



《ボランティアによる若竹整備備》

一方、近年ではNPOなど市民団体による森林整備の取り組みなど、多様な主体による森林保全の動きも見られます。

将来にわたり健康で豊かな森林づくりを継続して行っていくために、森林整備の担い手や財源の確保、森林資源の利活用など多くの課題を抱えていることから、市民・団体・企業などとの協働が重要となっています。

また、水環境をみると、平成21年に市内32ヶ所で行った水生生物調査では、各河川の水質状況は概ね前回調査時(平成18年)と同様であり、特に瀬戸川、朝比奈川の上流部は「きれいな水」の判定が多い結果となりました。

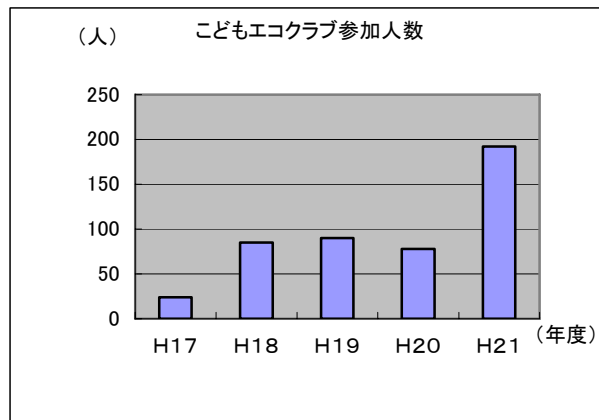
汚濁負荷量については、全体的にわずかながらも前回より減少しています。特に事業系の負荷量は大きく減少しており、排水処理施設を低環境負荷型に変えるなど、事業所における環境への取組が伺えます。

(4) 環境教育の充実

恵まれた豊かな自然と良質な生活環境を維持・向上し将来の世代へ引き継ぐ為、一人ひとりが環境について自覚し、正しい知識をもって理解を深める必要があります。

そのため、子供から高齢者までを対象とした各公民館における様々な環境教育講座の開催や、アースキッズ事業、子供達の自主的な環境活動の実施を促す「こどもエコクラブ」事業などに取り組んでいます。

より一層の環境保全意識の向上を図るため、“もったいない”の精神のもと、環境保全に取り組む上で中心となる人材の育成、家庭や学校、地域などにおける環境教育や環境学習の推進、環境に関する情報の収集や提供などの充実が課題となっています。



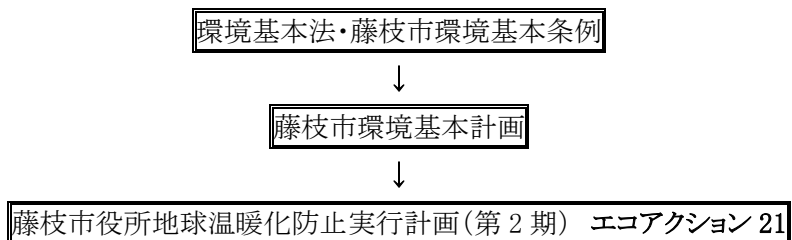
4 環境への取り組み状況

本市では、「環境基本法」により策定された「藤枝市環境基本計画」の重点取り組み項目の1つである「市役所での率先行動」を推進するため、「地球温暖化対策の推進に関する法律」により、平成13年12月に「藤枝市地球温暖化防止計画(第1期)」を、平成17年度には「藤枝市役所地球温暖化防止実行計画(第2期)」を策定し、環境負荷の軽減を図っております。

平成20年12月には、市民・事業者・行政が一体となって、環境と共生し循環を基調とする「持続可能な発展」を目指し市民総ぐるみで取り組むため、**“もったいない”都市宣言**をしました。

なお、エコアクション21につきましては、平成20年3月に取得し前述の計画と共に環境負荷の軽減を図っております。

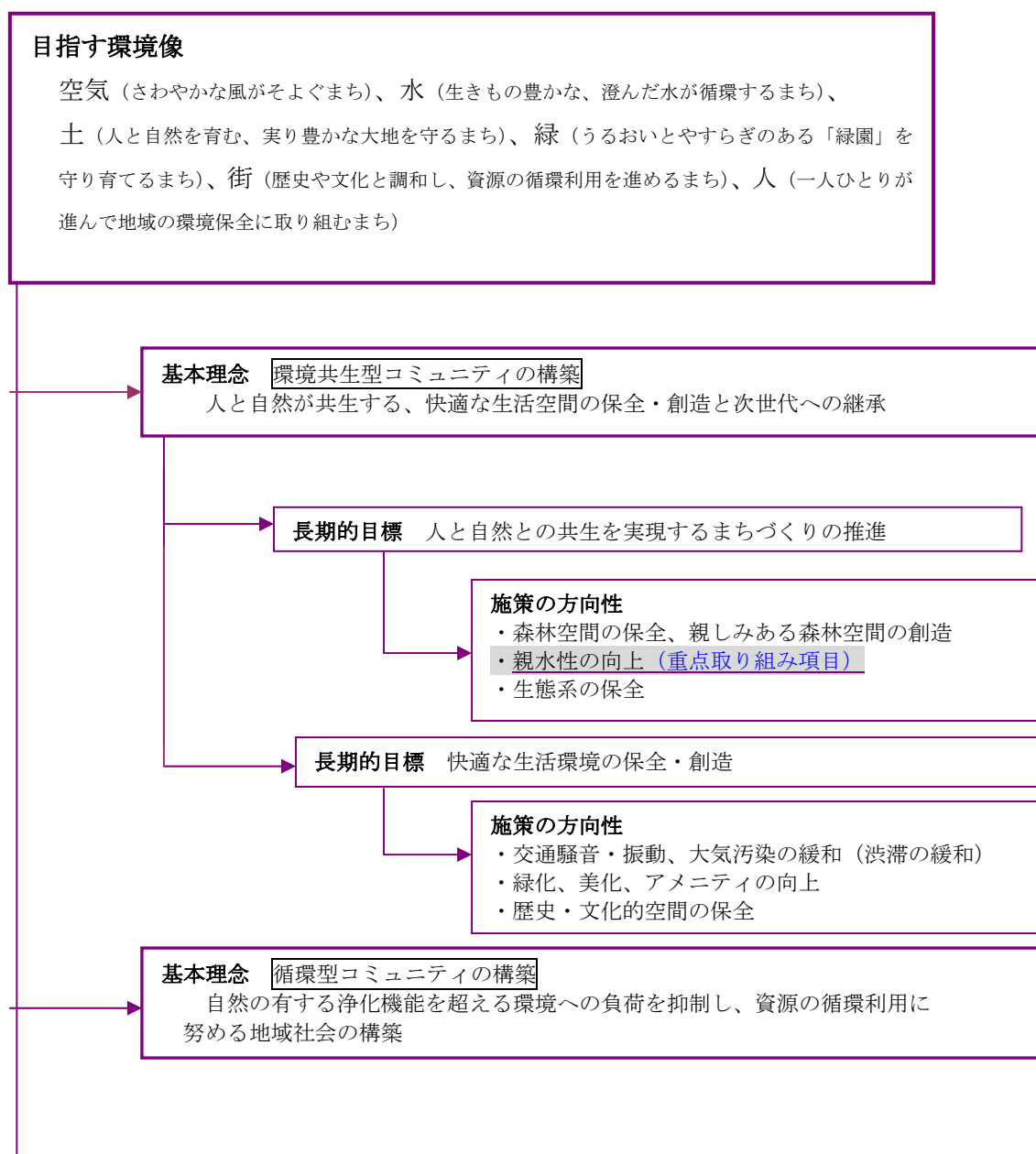
また、藤枝商工会議所と連携し「自治体イニシャティブプログラム」により事業所の認証・取得を推進しており、平成21年度末で、37事業所が認証を取得しております。

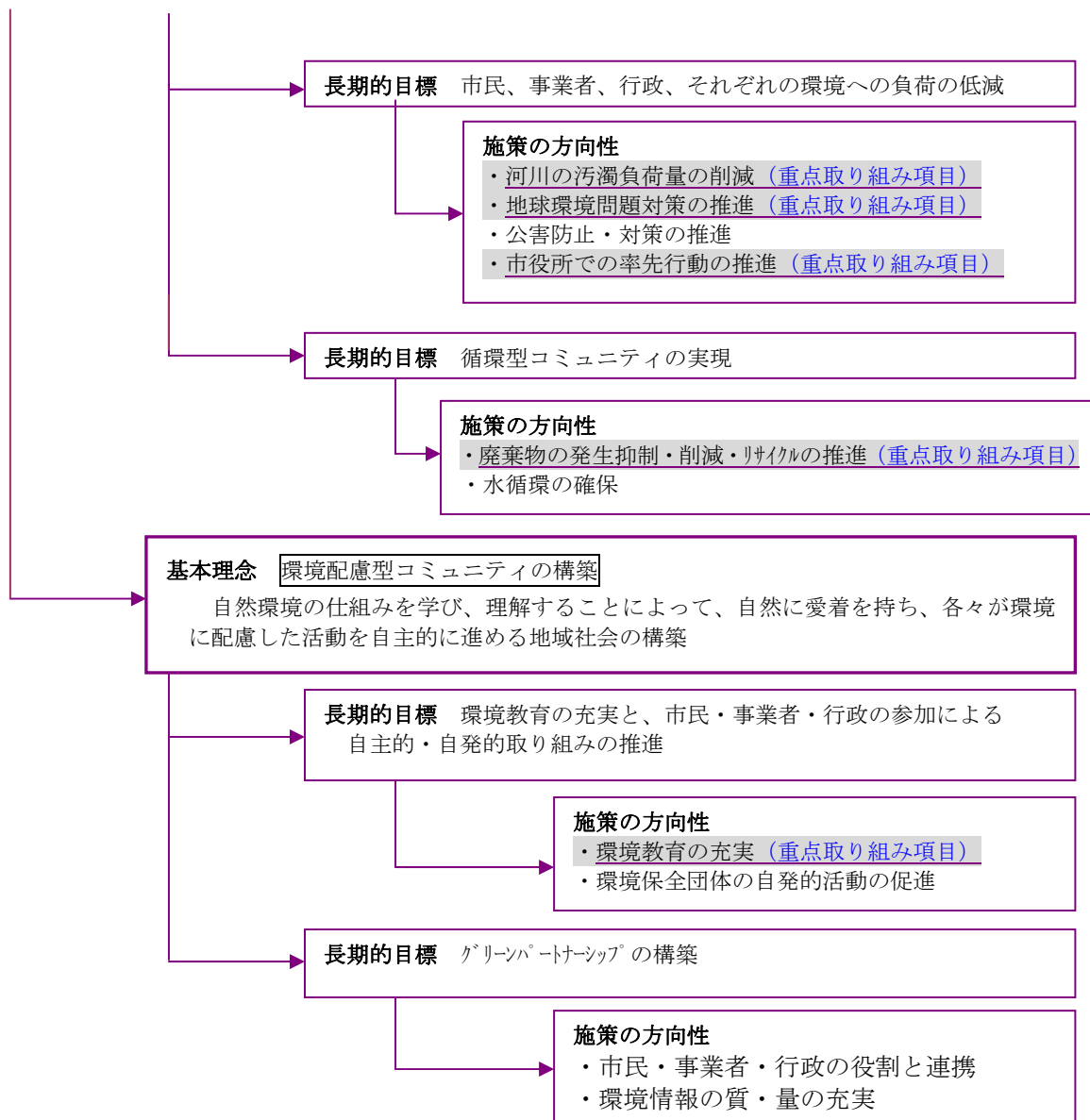


藤枝市環境基本計画の期間

計画期間は、平成12年度から平成22年度とし各取り組みについて目標達成を目指しています。

施策の方向性





重点取り組み項目

1 河川の汚濁負荷量の削減

事業名	実施内容	担当課	H21 目標	実績	評価
合併浄化槽設置に対する補助	浄化槽設置補助金 (単独槽からの切り替え 及び新設)	生活環境課	479 基	343 基	生活排水による 公共用水域への 汚濁物質の負荷 は、16,833g/日 軽減された。
公共下水道事業の推進	公共下水道の面整備 水洗便所回収資金の斡 旋及び利子補給	下水道課	面整備:4.4ha 普及率:39.1% 利用率: 90.6%	面整備:8.3ha 普及率:38.9% 利用率:92.6%	計画的に公共下 水道の普及が進 んでいる。 汚濁負荷量の低 減にもつながる。
水質関連苦情	水質関連苦情処理 (水質調査、不法投棄の 回収等)	生活環境課	即時対応	17 件実施	随時受付け、苦 情が改善された
浄化対策の促進	事業所排水の水質調査 の実施	生活環境課	1 回/年	38 件	現地調査により 適正指導を実施 した
河川水質の監視・結果公表	①河川の水質調査の実 施及び監視 ②水生生物による水質 調査の実施	生活環境課	①1 回/月 ②11 月実施	①水質調査は毎 月実施(11 河川 16 箇所) ②水生生物調査 を実施	①毎月の調査に より、関係者に 適切な指導が実 施できた ②前回と概ね結 果は一緒であつ たが、事業系の 改善を確認した

2 親水性の向上

事業名	実施内容	担当課	H21 目標	実績	評価
市民による河川美化・清掃活動に対する支援	①河川愛護団体への支 援(補助金) ②河川統一美化運動	河川課	①90 団体 ②200 名	①90 団体 ②190 人	環境保全に貢献 する団体が増え た。
川を軸としたまちづくり支援	藪田川におけるカバ タモリ保護池周辺の環境維持 修繕	河川課	環境の維持	保護池にポンプ 等設置	希少危惧種の保 全に努めた
蓮華寺池における水質 改善、清掃、ごみ減量な どの取り組み	まち美化里親制度によ る公園内美化活動の推 進	花と緑の課 市民協働課	蓮華寺池の 環境保全	里親団体(5 団 体)による活動	昨年度より1 団 体増え、保全活 動に従事できた

3 産業廃棄物の発生抑制・削減・リサイクルの推進

事業名	実施内容	担当課	H21 目標	実績	評価
容器包装の分別収集、リ サイクルの推進	①容器包装プラスチッ クの回収 ②ペットボトルの回収	生活環境課	①週1 回の 回収 ②月1 回の 定期回収	8 公民館、生涯 学習センター、 文化センターで 計画通り実施 ・生ごみ等処理	リサイクル率は前 年より下がった。 今後も分別の徹 底に努める。

生ごみ処理機購入費補助及び生ごみ堆肥の活用	生ごみ等処理用購入費補助金（185基）	生活環境課	生ごみ処理機導入を促進185基	用具121基補助・生ごみ堆肥化モデル地区を設置し、実施	家庭系可燃ごみの排出量は前年より減っており、一因となった。
民間団体への取組支援	中古衣料の回収	市民協働課	2回/年	年2回実施した	廃棄物の削減につなげた。

4 地球温暖化防止対策の推進

事業名	実施内容	担当課	H21 目標	実績	評価
省エネルギー意識の普及啓発	ライトダウンキャンペーンの実施	生活環境課	ライトダウンキャンペーンの実施	4/22（アースデー）6/20、7/7（セタライトダウン）実施した	市内公共施設で実施。CO2の削減に努めた
公共施設からの温室効果ガスの排出量の把握と削減に向けた取り組みの推進	・藤枝市役所地球温暖化防止実行計画（第2期）に基づく取組の促進 ・温室効果ガス排出量の把握	生活環境課	市事務事業からの排出 H11年度比 △6%	公共施設 13,106.6 t 対11年度比 △6.4%	エコアクション及び温暖化防止計画に基づく率先行動を積極的に取組めた。
〃	公共施設における太陽光・太陽熱等未利用エネルギー導入の検討	企画政策課 管財課 生活環境課	本庁舎への設置の検討	H22年度に設置を決定	国庫補助金一部を受けて設置
公共交通機関の利用促進	自主運行バス利用促進のための広報掲載によるPR	都市計画課	利用促進を図る	市内8路線を運行。利用者数は増加した。	利用者数は増加したが、路線により偏りがある為一層のPRに努めたい
緑化推進事業	①生垣設置助成補助 ②誕生、結婚記念樹の配布	花と緑の課	①生垣助成（44件） ②記念樹の配布（480件）	① 40件 ② 185件	緑化推進のため積極的に実施できた
〃	エコアクション21自治体インシャティブプログラム（藤枝商工会議所との共催）	生活環境課	10事業所	年6回のインシャティブ実施（6事業所の参加）	目標を下回ったがインシャティブ参加事業者が認証を取得するまで継続的に支援する。

5 環境教育の充実

事業名	実施内容	担当課	H21 目標	実績	評価
公民館等における環境講座	環境関係の各種講座を開催	生活環境課 各公民館	15講座 参加者 300名	20講座 計293名	多くの講座が開催できたが、地域に偏りがあるため今後解消する
小学4年生コンクール事業	各種環境に関するコンクール（ゴミ0運動、リサイクル運動ポスターコンクール小4対象）	生活環境課	200点の応募	応募作品182点	目標に達しなかったが、応募作品が昨年度を上回った
体験型の環境教育の実施	アース・キッズ推進事業（小学5年生による2週間の環境取組）	生活環境課	小学校1校	中央小学校5年生（82人）が参加	取り組みによって環境に関する意識が高まった。

体験学習	「水上の里ビオ田んぼ」 体験学習の活用支援 (田植え、稲刈り、餅つき)	生活環境課	継続支援 参加者 150名	6月(田植え) 10月(稲刈り) 1月(餅つき) 計180名	参加者は目標に 達しなかった が、環境への意 識啓発ができた。
------	---	-------	---------------------	---	--

6 市役所での率先行動の推進

事業名	実施内容	担当課	H21 目標	実績	評価
公用車代替燃料の推進	ゴミ収集車に食用油燃料	生活環境課	1台に使用	2,370ℓ使用	経過観察中
エコオフィスの推進	藤枝市役所地球温暖化 防止実行計画に沿った 取り組み	生活環境課 (管財課)	H22 までに H11比 - 6% 廃棄物は H12比とする。	CO ₂ : +12.4% 廃棄物(総量) : +10.9%	CO ₂ に関しては、合併で行政 区域の拡大、職員増により増加 した。 廃棄物に関しては、可燃ごみ・ 新聞紙は減ったがそれ以外が増 えた為、全体を 押し上げる結果 となってしまった。
市役所の事務事業から 排出される温室効果ガ スの把握と削減					
市役所における省エネ ルギーの推進					
市役所の活動で生じる 廃棄物の削減					
ノーカーデアの推進	①毎月第3金曜日にノ ーカーデアを実施 ②チャレンジエコ通勤	生活環境課	ノーカー デアの完全実 施	①平均実施率 50% ②平均 33.6kg/ 人 削減	実施率の向上が 課題
グリーン購入の推進	グリーン購入に関する 情報提供及び推進	全課	グリーン商品の 購入	概ね実施	今後調達率の算 定を明確にする
職員の啓発	まちをきれいにする活 動	人事課	毎月1回 年12回実施	毎月第3水曜日 に実施	周辺の美化が保 たれている
環境配慮型機械の推進	排出ガス対策型、低騒音 型建設機械の使用	建築住宅課	担当監督員 によるチェック により完全 実施	全ての工事で実 施	苦情の削減

7 その他環境負荷の削減に関する事業

事業名	実施内容	担当課	H21 目標	実績	評価
ばい煙発生施設等の指 導、監視	(ばい煙発生施設、一般 粉じん特定施設、ダイキ ン対策特別措置法に伴う 特定施設) 届出	生活環境課	随時対応し ばい煙等によ る苦情を削減	各施設の届出を 随時受付	届出を随時受付 け、監視指導を 徹底できた
大気関連苦情	大気関連苦情処理 (野焼き等)	生活環境課	前年度比減	42件	野焼きの苦情増 の為対応が必要
騒音特定施設の指導、監 視	特定施設届出	生活環境課	随時対応に よる苦情減	随時受付	指導監視が徹底 できた
騒音関連苦情	騒音関連苦情処理 (解体、建設等)	生活環境課	前年度比減	13件	苦情増の為対応 が必要
交通騒音測定	国一、藤枝バイパス交通 騒音測定	生活環境課	現状把握よ る苦情低減	11月に実施	現状把握の為の 情報収集ができた

振動特定施設の指導、監視	特定施設届出	生活環境課	随時対応による苦情減	随時受付	指導監視が徹底できた
振動関連苦情	振動関連苦情処理 (解体、建設等)	生活環境課	前年度比減	0件	苦情を無にすることができた
悪臭特定施設の指導、監視	特定施設届出	生活環境課	随時対応による苦情減	随時受付	指導監視が徹底できた
悪臭その他の苦情	悪臭その他の関連苦情処理	生活環境課	前年度比減	12件	苦情増の為対応が必要

藤枝市もったいない運動の取組み



これまでの生活は、大量生産、大量消費、大量廃棄を繰り返す 豊か生活により発展を遂げてきましたが、近年地球温暖化に伴う気候変動など、地球環境問題がひとつの大きな社会問題となり、身近な生活環境の課題として最近では廃棄物削減の動きが藤枝市はもちろん、全国的にも進められています。

「もったいない」は、限られた資源を無駄にせず、効率的に活用する「ものを大切にする」気持ちを大切にするという考え方で、古くから日本人が行ってきた環境を大事にする行動の一つです。

これらの流れを受け継ぎ、次の世代へも良い環境を伝えていくために、二酸化炭素など温室効果ガスの削減や自然環境の保護など、「もったいない運動」として平成18年度から取り組んできました。

資源循環型社会の形成や地球温暖化防止への更なる取り組みを行うため、平成21年12月“もったいない”都市宣言を行い、藤枝市もったいない運動推進委員会が推進主体となり、市民参加のもと実際に行動できる運動として取り組んでいくものです。

●平成21年度主な活動実績 《もったいない運動推進集会》



平成21年12月20日、市民・事業者の参加のもと開催された「もったいない運動推進集会」において、藤枝市は環境行動都市を目指し“もったいない”都市宣言をしました。

また、市内で活動する5つの市民団体が環境への取り組みについて発表を行い、引き続き環境活動を実施することを誓いました。

“もったいない”都市宣言



宣言の解説



この他にも、小学校4年生が描いた環境ポスターの入賞作品をごみ収集車に貼付し、市民の皆さんへの環境意識を高揚させる啓発事業や、家庭で簡単に取組める環境にやさしい3つの目標を宣言する「“もったいない”エコファミリー宣言」事業をスタートさせ、もったいない運動を積極的に展開しています。

《レジ袋無料配布中止》

ごみ減量や環境負荷軽減のために、レジ袋の無料配布を中止する取り組みに賛同していただいた市内スーパーと「藤枝市におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定」を10月に締結しました。

2月から実施され、各スーパーでチラシ配付等の周知活動を実施しました。



5 目標と環境への負荷の状況と評価

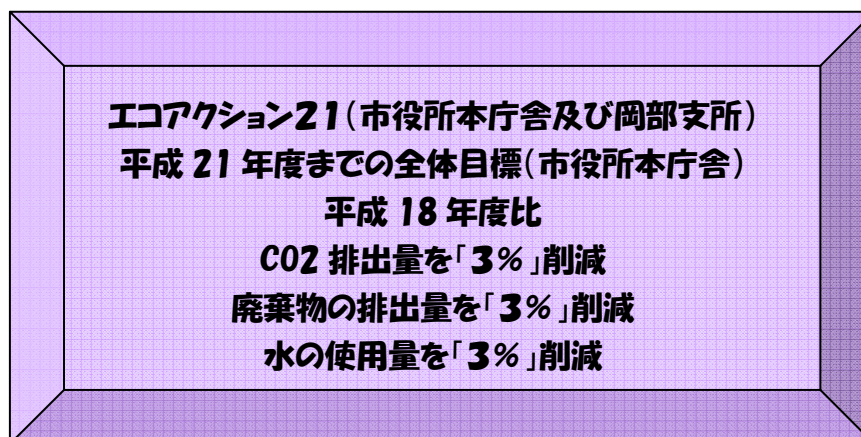
(1) 環境目標の設定

藤枝市役所では、平成13年度より「藤枝市役所地球温暖化防止実行計画」において数値目標を設定し、毎年達成状況を確認する中、出先機関を含む全課においてCO2排出量の削減に取り組んできました。

エコアクション21では認証・登録前年度を基準とし、平成21年度までに「3%削減」することを全体目標としました。

今年度に対象範囲とした岡部支所については、基準年の数値がないため対象外とします。

エコアクション21全体目標



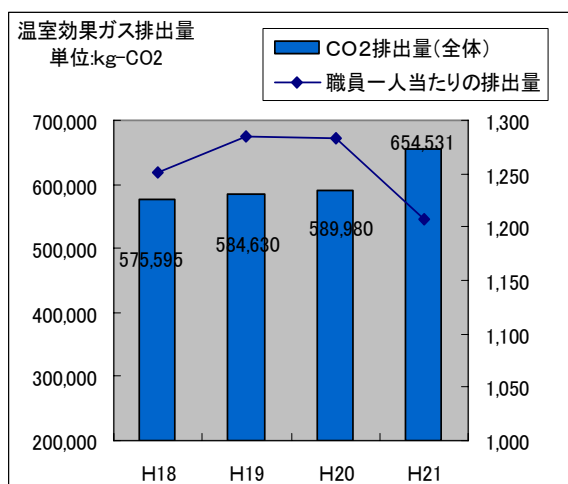
（2）－1 取組結果（市役所本庁舎）

① CO2排出量

【目標】平成21年度までにCO2の排出量を平成18年度比「3%」削減する

※CO2排出量（電気・ガス・公用車燃料）

項目／年度	平成18年度	平成21年度	増減率%
CO2排出量（t/CO2）	576	655	+13.7
電気（kwh）	904,404	1,010,322	+11.7
ガス（m ³ ）	54,082	58,372	+7.9
ガソリン（ℓ）	45,069	56,797	+26.0
軽油（ℓ）	5,744	6,742	+17.4
CO2排出量(t/CO2)／職員(人)	1.25	1.21	△3.2



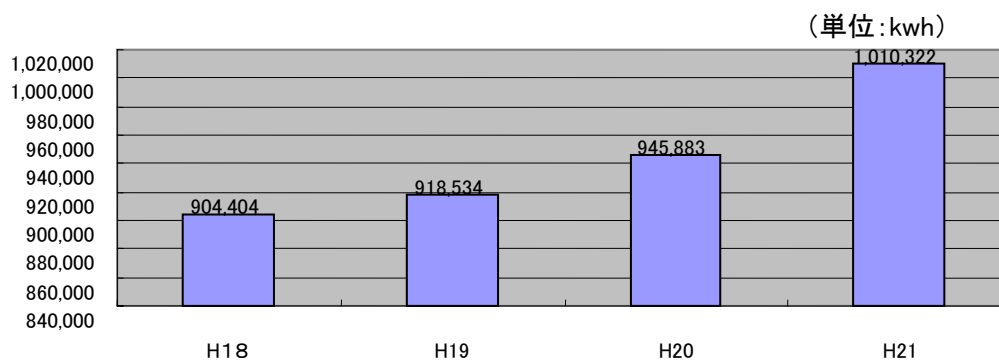
【考察】

平成21年度のCO2の排出量は、電気、ガス、ガソリン等、全てにおいて使用量が増加した為、平成18年度比13.7%の増加となった。これは、平成21年1月の合併により職員数が増加したことに伴い、パソコン使用台数が増加したこと、空調運転時の消費電力が上がったこと、また行政区域が拡大したことにより公用車の走行距離が伸びたこと等が大きな要因と思われる。

しかし、職員一人当たりの排出量を比較すると、3.2%減少しており、エコアクションの取り組みが浸透してきた結果と考えられる。

今後業務の更なる効率化、職員への意識の徹底、また省電力タイプの照明に設備を切り替えるなどし、CO2の削減に努めていきます。

藤枝市役所本庁舎年度別電気使用量



市役所の取り組み事例



各課照明

トイレ



給湯室

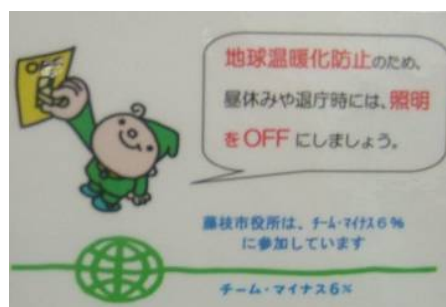
トイレ、給湯室等に省エネ・節水を呼びかけるステッカーを貼付しています。

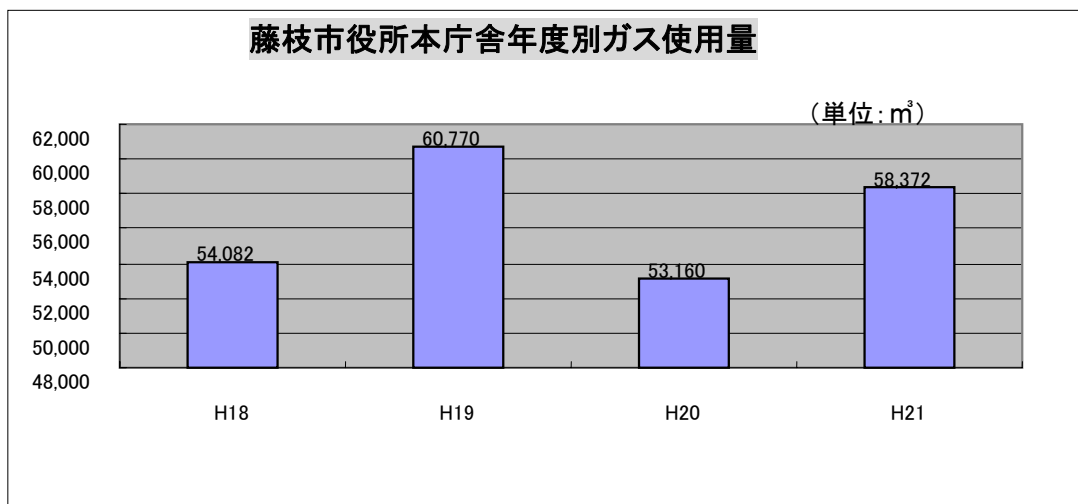
省エネにご協力ください
午後5時以降は、ガスの元栓を閉めましょう



ゴミ減らしましょう
お弁当のごみなどは持ち帰りましょう。

節水にご協力ください
水の出っぱなしに注意しましょう。





【考察】電気・ガス

平成 21 年度の電気・ガスの使用量は、それぞれ平成 18 年度比で 11.7%、7.9%増加となった。これは岡部町との合併により、対象職員が増えたこと、それに伴い、使用するパソコン台数が増加していることも要因の一つである。また、夏季・冬季に使用する空調設備の使用量が共に前年比で増加していた。

しかしながら、職員一人当たりの使用量でみると、それぞれ 5.2%、8.4%減少することができた。

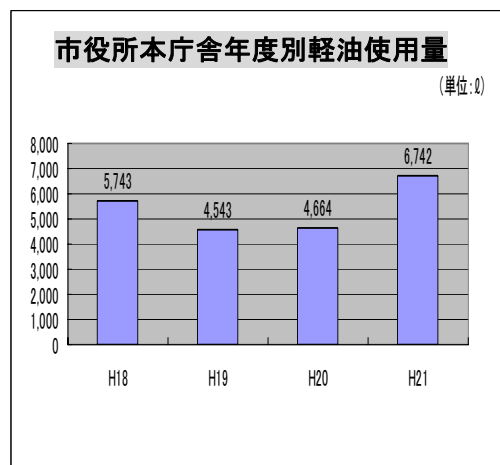
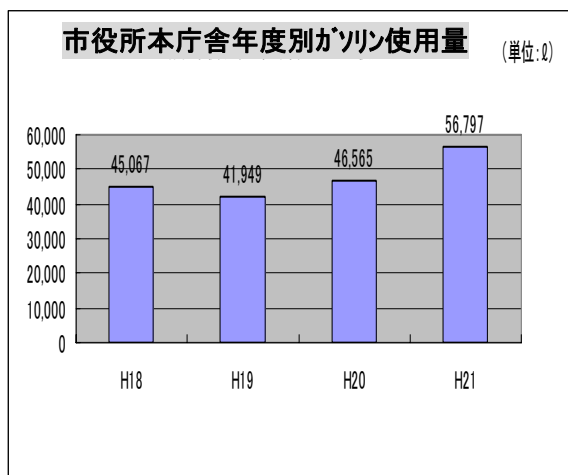
施設の老朽化等もあり目標を達成するには困難な状況であるが、設備の回収を検討すると共に、市職員の率先行動として節電やクールビズなどに今後も積極的に取り組み、節電に努めます。

市役所の取り組み事例

各フロアでは、天候や明るさに応じて電灯を間引いた点灯、業務に支障のない範囲で昼休みの消灯の実施、時間外には、廊下の完全消灯を実施しています。

また、課内のデッドスペースの照明は取り外すなどして、一層の節電に取り組んでいます。





【考察】ガソリン・軽油

ガソリン、軽油の使用量についても、それぞれ平成18年度比7.9%、26.0%と増加した。

これは、合併により行政区域や業務内容が拡大した為、公用車の走行距離が伸びたことが大きな要因である。

軽油に関しては、これまで県外へのマイクロバス利用が控えられていたが、平成21年度は商業観光のPRや友好都市との交流など、県外への移動にマイクロバスが積極的に利用されるようになったため、軽油の使用量が大幅に増加した。

これらにより職員一人当たりの使用量をみても6.7%の増加となっているが、エコドライブの実践や近距離での公用自転車利用等により使用量の削減に努めます。

② 廃棄物排出量

【目標】廃棄物の排出量を平成18年度比「3%」削減する

(藤枝市役所本庁舎)

項目／年度	平成18年度	平成21年度	増減率%
可燃ごみ・廃プラ (kg)	5,452	5,811	+6.6
新聞紙 (kg)	1,700	1,751	+3.0
紙類 (kg)	15,884	19,587	+23.3
資源・不燃ごみ (kg)	1,177	1,767	+50.1
計	24,213	28,916	+19.4
廃棄物総量 (kg)／職員 (人)	52.6	53.4	+1.5

【考察】

可燃ごみ・廃プラ、新聞紙についてはわずかに増加してしまった。

紙類に関しては、合併に係る資料の大量廃棄、外部から送付されたパンフレット類の

廃棄など単発的な要因により増加してしまった。また、資源・不燃ごみに関しては、老朽化により使用できない備品類の廃棄があり、これもまた、単発的な理由により増加した。

事業内容、事務量により廃棄物の増減が左右されますが、職員一人当たりでみた排出量も増加しているため、合併により新たにエコアクション21に取り組む職員も含め、今一度意識の啓発により、可能な限りの削減に努めます。

市役所の取り組み事例

市の事務事業において排出された廃棄物は、庁舎と隣接している置き場にきちんと分別され、処分されています。



③ 水使用量

【目標】平成21年度までに水の使用量を平成18年度比「3%」削減する

(藤枝市役所本庁舎)

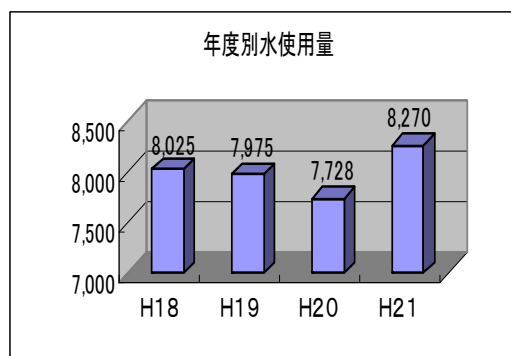
項目／年度	平成18年度	平成21年度	増減率%
水 (m ³)	8,025	8,270	+3.1
水 (m ³)／職員(人)	17.4	15.3	△12.1

【考察】

平成21年度の水使用量は、合併による職員数の増加により3.1%増加し、目標を達成することはできませんでした。

しかし、職員一人当たりの使用量は12.1%減少し、目標を達成することができました。

職員のマイボトル持参も定着するなど意識も向上していることから、引き続き節水を呼びかけるなどして取り組んでいきます。



(2) - 2 取組結果（岡部支所）

年度／項目	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	廃棄物総量 (kg)	総排水量 (m ³)
平成 21 年度	53	456.5	455

【考察】

平成21年度よりエコアクション21の対象となったため、それ以前のデータがありません。よって21年度を基準とし、各項目の削減を目指します。

平成22年度からは、これまではなかった削減目標を設けて取組んでいくため、エコアクション21への意識をより高め、CO₂等の削減に取り組んでいきます。

(3) 「エコアクション21 職員の環境行動指針 10 箇条」と各課の取り組み目標

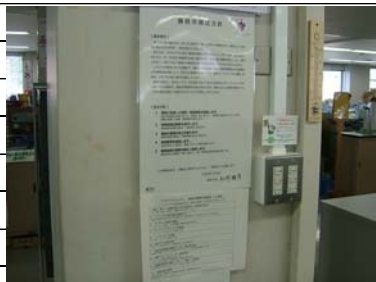
エコアクション21を積極的に推進するため、職員が特に取組むべき具体的な項目を「エコアクション21 職員の環境行動指針 10 箇条」として挙げ、各課で取り組んでいます。

本10箇条については、職員間へ浸透してきましたので、今後見直しを図る中で実行していきます。

また、各課においても重点目標を3つ以上立て、エコアクション21推進員が中心となって取り組みを実施し、概ね実行できています。

エコアクション21 職員の環境行動指針 10 箇条

～一人ひとりが目的意識を持ち、環境に配慮した取り組みを実施します～

1 課内・廊下・会議室等における昼休み・終業時の消灯	
廊下・課内の照明は、昼休み・終業時には部分点灯とします。	
2 パソコンの不使用时の電源オフ	
長時間の離席時や昼休み等の不使用时には、各自電源を切り、退庁時にはコンセントを抜きます。	
3 マイボトル持参の推進	
「マイボトル」を持参し、水の使用量、廃棄物の削減に努めます。	
4 アイドリングストップの徹底	
「エコドライブ10のすすめ」を実践します。	
5 ノーカーダーの実践	
月1回のノーカーダーを実践します。	
6 私物ごみの持ち帰り	
私物ごみ、弁当の残り物は、各自責任を持って持ち帰ります。	
7 必要印刷部数の確認 と コピー紙の再利用	
必要部数の確認、ミスコピーを抑制します。また、コピー用紙の裏面活用をします。	
8 自動ドア・エレベーター使用抑制	
エレベーターを使用せず階段を利用します。 ロビー出入り口の自動ドアは使用せず、手動扉を使用します。	
9 環境配慮物品の購入〔グリーン購入〕の推進	
環境に配慮した物品（エコマークのついた物品）を購入します。	
10 過剰包装の抑制	
封筒使用の抑制、物品購入時の過剰包装等を断り、廃棄物を削減します。 封筒等は再利用します。	

6 教育・訓練の実施

(1) 研修会の実施

開催日	研修会名	対象者	内容
H21.7.21	内部環境監査員研修会	内部環境監査委員 (10名)	内部環境監査委員の役割について 講師 エコアクション 21 審査人 中神紀典 氏 審査人 池谷伸兒 氏
H21.8.7	内部環境監査実施説明会	内部環境監査委員 (10名)	内部環境監査の実施方法について
H21 6.16、7.21 9.17、11.5 計4回	事務局研修	市川・福地 (2名)	エコアクション 21 の取り組みについて エコアクション 21 審査人 池谷伸兒 氏
H22.2.26	エコアクション21実施体制説明会	部課長・エコアップリーダー (150名)	平成22年度以降のエコアクション21実施体制について エコアクション 21 審査人 中神紀典 氏

(2) 内部環境監査の実施

10月5日(月)～9日(金)にかけて市役所本庁舎及び岡部支所40課を4班体制で内部環境監査を実施

	内 容
監査対象範囲	藤枝市役所本庁舎及び岡部支所
監査対象業務	藤枝で実施している事務・事業
監査方法	エコアクション21内部環境監査確認項目による関係各課(室)への聞き取り
監査日	平成 21 年 10 月 5 日～平成 21 年 10 月 9 日
監査実施者	内部環境監査委員長ほか 9 名、4 班体制で実施
監査結果	改善を要する課はありませんでしたが、一部改善を要する課があったため、指導を実施しました。

(3) 情報発信による啓発活動の実施

環境への取り組みに関する情報を「エコアップ通信」に掲載し、各部署へ啓発を行った。

6月	第1号	環境月間、ノーカーデーの実施等について
7月	第2号	ノーカーデーの結果、ごみダイエットへの取り組みについて
8月	第3号	エコアクション21内部監査の実施について
11月	第4号	レジ袋削減の取組に対する協定について
12月	第5号	“もったいない”都市宣言について
2月	第6号	“もったいない”エコファミリー宣言について
3月	第7号	エコアクション21の更新について

7 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

環境関連法規の遵守状況を確認した結果、各事業活動において法令違反や事故、異常事態の発生は報告されておられません。
また過去3年間にわたって違反・訴訟もありません。

苦情状況(生活環境関連)

年度/種類	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	廃棄物	犬・猫	その他	合計
H21	42	17	13	0	11	202	173	21	479
H20	45	10	15	0	7	92	173	9	351
H19	44	6	21	2	4	93	138	20	328

公害等に関する苦情につきましては、平成20年度以降は合併による行政区域の拡大もあり件数が若干増えました。毎年焼却等に伴う大気汚染の苦情が全体の半数を占めています。

一定規模の事業所は、設備に対する法規制が公害発生の抑制になっていますが、個人を含むそれ以外の事業所等への啓発が今後の課題となっております。

また近年は、畜犬・猫の登録が年々増加の傾向にあり、それに伴い猫の鳴き声、糞尿等に関する市民からの苦情が後を絶ちません。更には、不法投棄をはじめとする廃棄物に関する苦情も多く寄せられるなど、市民、事業所に対して広い範囲での環境問題に係る情報提供、意識の啓発に努めていかなければなりません。

今後HPや広報ふじえだなど、様々なツールを利用して実施していきます。

8 今後の取得予定

平成21年1月に岡部町と合併し新生藤枝市となったため、平成21年度は岡部支所を対象に加え取り組みました。

平成22年度は病院と学校を除く(一部モデル校として実施)全ての施設を対象に拡大し、取り組んでいきます。また、対象範囲を大幅に拡大するため、各部局長を中心に部内マネジメントを実施するよう体制を整えていきます。

学校につきましては、平成23年度以降段階的に拡大していく予定です。

9 代表者による全体評価

藤枝市では「藤枝市環境基本計画」、「地球温暖化防止実行計画(第2期)」に基づき、市域における環境施策や、藤枝市の事務及び事業において環境負荷を軽減し、温室効果ガスの排出抑制に取り組んできました。

これらの計画をより効果的・効率的に実行するため、平成20年3月にエコアクション21の認証を取得し、事務事業及び環境施策等の進捗管理、成果の評価などを実施し、継続的改善に努めています。

平成21年度の取り組み結果をみると、平成21年1月の旧岡部町との合併により、二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・水の使用料は共に基準年度より増加してしまいましたが、職員一人当たりで換算した各項目の取り組み結果は、二酸化炭素排出量及び水の使用料については、それぞれ3.2%、12.1%削減し取り組み目標を達成することができました。しかし、廃棄物排出量については職員一人当たりで換算した場合でも1.5%増加してしまい、目標を達成することはできませんでした。今後も、廃棄物の削減については重要な取り組みと位置づけ、廃棄物の減量化・リサイクルの推進、また、グリーン購入を推進し環境負荷が少ない製品の使用に努めていきたいと考えております。

平成21年12月に「“もったいない”都市宣言」をし、市民・事業者・行政が一体となり、環境と共生し循環を基調とする「持続可能な発展」を目指し取り組んでいます。自治体イニシャティブプログラムを継続的に実施する中、エコアクション21の認証取得事業者も増えつつあります。家庭で簡単に取り組める環境に優しい取り組みを実施する「“もったいない”エコファミリー宣言」家族も着実に増えています。

平成22年度は、エコアクション21の対象を大幅に拡大し取り組んでいく為、職員一人ひとりが市民・事業者の手本となるよう、市域における環境負荷の低減、環境保全に努め、「環境行動都市」の実現を目指してまいります。



エコアクション21

認証・登録番号0002302

藤枝市生活環境課

〒426-8722

静岡県藤枝市岡出山1丁目11番1号

電話 054-643-3111（代表）

E-Mail kankyo@city.fujieda.shizuoka.jp

ホームページ <http://www.city.fujieda.shizuoka.jp>